

基礎研修について

1. 基礎研修とは

○日本社会福祉士会の「新しい生涯研修制度」における基礎課程による研修です。

○基礎研修のねらいと到達目標は次のとおりです。

<ねらい> 社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術を学び、社会福祉士の専門性の基礎を身につける。

<到達目標> ①社会福祉士の倫理綱領を理解する。
②社会福祉士共通基盤の基礎を身につける。
③社会福祉援助の展開過程をふまえた実践ができる。
④スーパービジョンについて理解ができる。
⑤生涯研修について理解する。
⑥自らの実践力や専門性を高めるために自己研鑽ができる。

○受講対象 すべての社会福祉士

○実施主体 各都道府県社会福祉士会

○研修の期間 原則3年の間に「基礎研修Ⅰ」「基礎研修Ⅱ」「基礎研修Ⅲ」（それぞれ1年間）を受講します。最長3年間の期間延長（計6年での受講）は可能です。

2. 基礎研修の内容

○基礎研修Ⅰ

<ねらい> 社会福祉士としての自覚を促すとともに実践の基礎となる、価値・知識・技術について理解する。

<到達目標> ①専門職が職能団体を持つ意義を知る。
②日本社会福祉士会、都道府県社会福祉士会の組織と役割を知る。
③生涯研修制度について知る。
④社会福祉士共通基盤について知る。
⑤実践現場における社会福祉士の専門性をふまえた役割を知る。
⑥実践をふまえて社会福祉士が倫理綱領や行動規範を持つ意味を知る。

○基礎研修Ⅱ

<ねらい> 社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術について学ぶ。

<到達目標> ①社会福祉士の倫理綱領や行動規範をふまえた実践の理解ができる。
②社会福祉士共通基盤について理解を深め、実践との関係を知る。
③社会福祉援助の展開過程を知り、それをふまえた実践ができる。
④実践力を高めるための基礎的な援助技術を身につける。
⑤スーパービジョンについて学ぶ。

○基礎研修Ⅲ

<ねらい> 社会福祉士として共通に必要な知識・技術を、実践と照らし合わせて学ぶ。

<到達目標> ①社会福祉援助の展開過程をふまえた実践の言語化や評価ができる。
②事例検討会を運営することができる。
③スーパービジョンを体験する。
④自らの実践について評価し研鑽につなぐことができる。